



豪雨

前線に注意!

地域の災害を想定してください

地域によって災害はさまざまです。あなたの地域でどのような災害が起こるのか防災マップなどを参考に想定し、災害の種類に合わせた避難場所と安全な避難方法をいくつか確認してください。

気象情報がなくても危険を感じたらすぐに避難することが肝心です。災害はいつ起こるかわかりませんが、そのための準備はできます。台風や大雨が多い季節です。今一度家の周りの点検と確認をぜひ行ってください。また、土砂災害が起こりそうな場所や、災害が発生しそうな道路の亀裂を発見したら、すぐに防災対策課までご連絡ください。なお、香南市防災マップは、各支所、防災対策課で配布しています。

問い合わせ 防災対策課 ☎ 57-8501



がけ崩れ(香我美町別役)

▲今年の5月24日午前4時ごろ、22日から降り続いた雨の影響で、香我美町別役の山の斜面が幅25メートル、高さ20メートルにわたり崩落。斜面下の民家に土砂が押し寄せ、トイレなどを壊しました。

前兆現象を見逃さない！土砂災害から身を守る

がけ崩れ

急斜面が崩れ落ちる災害

- ◆斜面から水がわき出す
- ◆小石がバラバラと落下する
- ◆斜面がふくらむ
- ◆斜面に裂け目ができる



地すべり

地層が滑り落ちる災害

- ◆急に水がわき出す
- ◆山腹に亀裂や段差が生じる
- ◆地鳴りがする
- ◆池や沼の水位が急変する



土石流

大量の水と土砂が流れる災害

- ◆渓流内で石が転がる音がする
- ◆渓流の水が急に減る
- ◆川の水位が急激に濁る
- ◆木が流れてくる



危険がないか確認を

今年5月24日朝の4時頃。突然起こったがけ崩れに、香我美町別役地区の被災者は「地震だと思った。もの凄い音に『崩れた』と思いつく外へ出た」幸いにもけが人はなく事なきを得た時の話をされました。この場所は急傾斜地危険区域。このような危険区域は、市内に486カ所もあります。また、土石流危険渓流区域は96カ所。その他にもがけ崩れや地滑りなどが発生する可能性のある地域は、土地の形状や雨の降り方などさまざまな条件をあてはめれば、数多くあると考えられます。このような自然災害から命や財産を守るために事前にできることを確認してください。

斜面付近は要警戒

豪雨災害で最も恐ろしいのは、土砂災害です。斜面付近に自宅がある場合は、土砂災害の前兆を確認したり「危ない」と危険を感じたらすぐに避難してください。また、道路の浸水や豪雨で避難できない場合は、市役所または香南消防署へ救助の連絡をしてください。

事前に排水設備の点検・掃除を

道路などの排水溝のつまりが原因で、道路や庭などに雨水が溜まると、駐車場や家屋の一階などが被害を受けます。雨水の排水設備などの点検・掃除を心がけてください。

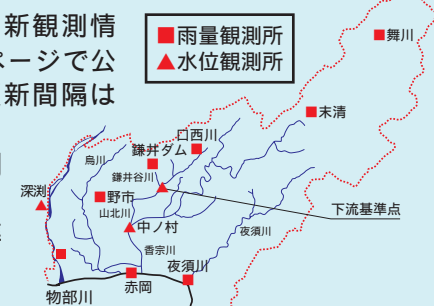
気象情報に聞き耳を！

気象庁から「土砂災害警戒情報」や「記録的短時間大雨情報」の発表が出されたら気象や雨量の状況に注意し早めの避難を心がけてください。また、過去に災害があった地域では特に注意を払い、すぐ避難できるように準備してください。高潮、増水の恐れがある地区ではなおさらです。

香南市内の水位・雨量観測所

雨量・水位の最新観測情報を県のホームページで公開しています。更新間隔は10分に1回です。周辺地域の観測情報を参考にし、避難等の判断基準にしてください。

水防観測情報(高知県)
[http://kouhou.bousai.pref.kochi.jp/suibou/index.html]



鳥川橋梁崩壊(野市町東佐古)

▲野市町の雨量計では、25日午前0時30分からの3時間で228.5mmというとても多い雨量を記録。香南市内では、床下浸水407棟、床上浸水105棟、家屋半壊1棟、一部損壊3棟でした。

1時間の最高雨量は高知市で129.5mm、野市町で89mmを観測。

1時間の雨量(mm)雨の強さと降り方

10~20mm/h
やや強い雨

この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。ザーザーと降る状態。地面からの跳ね返りで足元が濡れ、一面に水溜りができる。雨の音で話し声がよく聞き取れない。

20~30mm/h
強い雨

側溝や下水、小さな川が溢れ、小規模な崖崩れが始まる。どしゃ降り状態。傘をさしても濡れ、自動車のワイパーを早くしても視界不良。寝ている人の半数くらいが雨に気づく。

30~50mm/h
激しい雨

山崩れ、崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。バケツをひっくり返したように降る状態。道路が川のようになり、自動車で高速走行をしているとブレーキが効きにくくなる。

50~80mm/h
非常に激しい雨

下水のマンホールから水が噴出する、土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。滝のようにゴーゴーと降り続く状態。傘は役に立たなくなり、地面から跳ね返った水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。

80mm/h以上
猛烈な雨

雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる状態。



▲暴雨で滝のように水が流れたみかん畑



▲白岩団地では、がけが崩れブロック塀を壊し車11台を押しつぶした

Flashback

忘れない

'98高知豪雨

【平成10年9月24日~25日】

季節の変わり目に梅雨前線や秋雨前線が停滞して大雨に見舞われる高知県。低気圧が前線を伴って日本付近を通過するときも広い範囲に大雨を降らせることがあります。前線が通過するときや、停滞している時は、注意をしてください。

瀬戸内海付近に停滞した秋雨前線の影響などで足摺岬や窪川付近で急速に発達した雨雲が高知市、南国市、香南市など次々に襲来。気象庁も予想しなかった未曾有の雨に、香南市内はがけ崩れや浸水が発生しました。緊急に避難した人は旧野市町と旧吉川村で221人。特に裏山が崩れた野市町の白岩団地では、27世帯91人が青少年センターに避難する事態となりました。

▶浸水した香宗地区。消防団員らが船で浸水世帯の救助にあたりました。

